

第1回 予習課題

【設例1】及び【設例2】を読んで、以下の（問1）～（問3）に答えなさい。

【設例1】

1. 大学の同窓会Xは、設立時の中核メンバーAから、その所有する土地甲乙を寄贈された。Xは法人格を有しておらず、甲乙につき、AからXの代表者であるB名義への所有権移転登記がされた。
2. Bは、甲が自己の名義であることに乗じ、甲を自己の所有地と称して、Yに売却した。Yは、甲上に建物丙を築造し、Zとの間で丙につき店舗営業を目的とする賃貸借契約を締結し、Zに引き渡した。Zは、レストランを開業するための準備作業として、丙の内装工事を行った。
3. 病気を理由にBがXの代表者を退任した後、新たに代表者に選任されたCは、就任後まもなく、甲丙がYの所有名義になっていること、Zが丙を店舗として利用していることを知った。
4. その後、Xは一般社団法人になった。Cは、乙の登記名義をBからXに変更するための手続への協力をBに依頼したところ、まもなくBが死亡した。Cは、乙の登記名義回復に向けた措置を一時休止しつつも、Bの唯一の相続人Dに対して、Bが管理していたX関係の書類や印鑑等を葬儀等が一段落した時点で返却してほしい旨を申し入れた。
5. Dは、乙をBから相続により取得したものと考え、Aの死亡から約3週間後、乙につき相続を原因とするBからDへの所有権移転登記をしたうえで、Eに売却した。Eは乙の売買代金をDが指定する預金口座に振り込み、DからEへの所有権移転登記がされた。

（問1）Xは、Yに対して甲の明渡し及び丙の取去を、Zに対して甲の明渡し及び丙からの退去を求めた。想定されるY及びZの反論をふまえ、請求が認められるべきか、検討しなさい。

（問2）Xは、乙の登記名義を回復するために、誰に対してどのような請求をすべきか。想定される相手方からの反論をふまえ、その請求が認められるべきか、検討しなさい。

【設例2】

1. 結婚披露パーティーに招待されたY(35歳)はX(20歳)と同席し、歓談中に意気投合して、2次会でも長く時間をともにした。Xの容姿を大いに気に入ったYは、Xが美容師養成の専門学校生で、翌年3月に専門学校を卒業後、しばらく修行をつんでから自分の美容室を開業したいと希望していることを知るや、Xを喜ばせようとして、「君が卒業したら、援助してあげるよ。」と述べ、酔った勢いも手伝い、テーブルに備え付けの紙ナプキンに「〇〇(Yの氏名)は、●●さん(Xの氏名)が専門学校を卒業する2021年3月に300万円差し上げます。2020年5月1日」と書いたうえで、自分の携帯電話番号もメモして、Xに手渡した。Xは「うれしい」とはしゃいで、その紙を受け取った。
2. Yは、妻子があり、パーティーの時間を楽しく過ごすために軽口をたたいただけで、実際にXに300万円を援助するつもりはなく、Xもそのことを承知しているものと思っていた。
3. ところが、2021年2月頃に、Yの携帯電話にXから突然連絡があり、「あの約束、守ってもらいますからね。」と伝えられて、仰天した。その後、Yは、Xが嫌がる言動をわざと繰り返した。Xは、Yから「私に関わると後悔することになる。住所も知っている。」と脅迫めいたことまで言われて、ストレスで体調を崩し、同年3月末に専門学校を卒業することができなくなった。

（問3）Xは、2021年5月1日、2020年5月1日にXY間において、YがXに300万円を贈与する旨の契約が成立したと主張し、Yに対して、300万円の支払を求めた。想定されるYの反論を複数考え、Xの請求が認められるべきか検討しなさい。